

1 いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

◆学習のねらい

友達を仲間外れにせず仲良くし、互いに助け合っていくとする態度を育てる。

◆評価

自分のことだけでなく、友達の気持ちも考え、仲良くすることの大切さに気付くことができたか。

◆教育課程における位置付け

特別の教科 道徳（友情、信頼）

◆主な使用教材

・「およげない りすさん」（文部科学省『わたしたちの道徳』小学校1・2年）

展開例

	学習活動（◇教師の発問例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 友達と一緒に遊んでいるときの気持ちを思い出す。 ◇ 友達と一緒に遊んでいるとき、どんな気持ちですか。	○ 言葉での表現が難しいときは、気持ちを表す絵カード等を活用する。
展開 35分	2 教材「およげない りすさん」を読み、気持ちを考える。 ◇ かめさんたちは、どんな気持ちで、「りすさんは、およげないから だめ。」と言ったのでしょうか。 ◇ 一人ぼっちになってしまったりすさんは、どんな気持ちだったでしょう。 【中心発問】 島で遊んでいる、あひるさん、かめさん、白鳥さんは、どんな気持ちで遊んでいるのでしょうか。	○ 教材を範読する際は、児童の実態に応じ、場面絵を活用した紙芝居等を活用する。 ○ あひるさん、かめさん、白鳥さんになって役割演技を行い、すっきりしない気持ちの理由を考えさせる。
終末 5分	3 本時の学習を振り返る。 ◇ 最後に、みんなで仲良く遊んだかめさんたちは、どんな気持ちになりましたか。	○ みんなで仲良く遊ぶことが、気持ちの良いことであることを理解させる。

板書例